



名護高校だより

2019年 1月7日
第15号
校長 大城 健

2019年(平成31年)スタート!飛躍の亥年に!



新年明けましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様には、昨年本校の教育活動に多くのご協力、ご支援を頂き、誠にありがとうございました。皆様に支えられて、生徒達は日々の学習、学校行事、部活動等に打ち込むことができました。新たな年を迎え、生徒達はより努力し、困難に立ち向かい、さらに飛躍してくれることと思います。皆様のあたたかいご支援、激励、本年もよろしく申し上げます。

さて、3年生の大学進学希望者はいよいよ一般入試に挑みます。1/19・20の大学入試センター試験では全員がベストを尽くし、最高の結果を出してくれることを期待しています。12/25現在の進路決定状況は、大学114名(国公立大学31名)、専門学校等47名、就職5名となっています。これから多くの生徒が進学、就職に挑戦します。生徒達はきっと頑張ってくれることでしょう。

2年生は勝負の年、この1年間でしっかり学力をつけ、自らの進路目標実現に向けて頑張ってもらいたい。1年生は新大学入試に向け、学力はもちろん、諸活動にもしっかりと取り組んでもらいたい。次年度の台湾修学旅行も進路学習、キャリア学習の大きな力になります。

駅伝部女子2年連続全国大会出場、京都(都大路)を駆ける!

12/23(日)冬のあたたかな陽が差す穏やかな京都で、女子第30回全国高校駅伝(記念大会)が開催されました。本校は2年連続8回目の出場。5人(1区伊野波理桜、2区渡慶次日菜、3区吉元花、4区比嘉みゆ、5区大城真歩)で襷をしっかりと繋ぎ、昨年度のタイムを1分27秒更新する1時間16分19秒、58位でゴールしました。各選手とも全力を尽くして都大路を駆け抜けてくれました。また控えのメンバー(座覇蘭、仲愛琳、荻堂李々花)が仲間を支え、まさに総力戦で県代表の誇りをもって戦ってくれました。今回の経験はきっと



今後の活躍に繋がることでしょう。西京極陸上競技場

ラグビー部、2年ぶり17回目の全国大会(花園)出場!



年末の寒波襲来、小雪舞う12/28(金)大阪の花園ラグビー場で第98回全国高校ラグビー1回戦が行われました。対戦相手は82年ぶりに出場を果たした名門早稲田実業。前半10分間互角な戦いを展開しましたが、さすが東京を勝ち抜いた日本代表選手を擁する強豪校、なかなかトライを奪うことができませんでした。3-55と点差はつきましたが、随所で名護高らしい好プレーも見られ、強豪とも対等に渡り合える近くまで力はあると感じました。この経験は必ずや将来に生きます。

(大阪)花園ラグビー場 また今回戦った第1グラウンドは、今年のラグビーワールドカップの会場として改めて整備された会場です。世界の強豪が集う会場で戦えたのも大きな体験でした。

名護高生「海外留学・研修体験報告会」開催

本校は平成28・29年度、県教育委員会より国際理解教育の研究指定を受け、生徒の海外渡航推進、各種コンクールへの挑戦など、生徒達が海外に向かって視野を広げる力の獲得に努めてきました。そして今年度も国際理解教育をさらに進めるために県教育委員会「生き生き活性化支援事業」を活用して取り組んでいます。その結果フロンティア科のカナダ研修を含め64名の生徒が、7カ国で海外を体験しました。彼らの体験を全校生徒に還元する機会として、12/25(火)体育館において報告会を開催しました。発表者と訪問国は次の通りです。①文科省「日韓高校生交流事業」韓国(2年)具志堅冬羽、②沖縄県「おきなわ国際協力人材育成事業」ラオス(2年)長田円、③沖縄県「おきなわ国際協力人材育成事業」ミャンマー(1年)宮城りわ、④沖縄県「海邦養秀ネットワーク事業」アメリカ・カリフォルニア(1年)井上奈乃羽、⑤外務省「JENESYS18 韓国派遣」(2年)コンセプト・ジョン・マナ月子、喜屋武結花、(3年)宮城ひづき、谷口波琉、玉城陽貴、⑥外務省「トビタテ! ジャパン」シンガポール(2年)鬼澤杏佳、⑦そしてニュージーランドから1年間本校へ留学している(2年)デボンさんがニュージーランドの生活、自然、文化について日本語で語ってくれました。

